

株式会社ジェイコムイースト 群馬局 2017 年度放送番組審議会 議事録

2017 年度 の放送番組審議会は 2017 年 11 月 21 日(火)に開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席 (五十音順)

石 井	學	様	橋 田	敦 士	様
富 沢	太 郎	様	長 塩	英 雄	様
深 澤	る み	様			

ご欠席 (五十音順)

新 井	政 信	様	大 竹	良 明	様
竹 中	三 郎	様	時 澤	常 雄	様

事業者側から局の現況報告及び J:COM チャンネルの取り組みについて説明があり、その後、審議番組について委員より意見が出された。

番組の審議 (石井会長による議事進行)

■ 審議番組「ジモスポぐんま」

(会長)

それでは本年6月より放送を開始した「ジモスポぐんま」について各委員よりご意見をいただきたい。

(委員:高齢者向けスポーツの紹介を希望)

まさしく地域に密着した番組である。群馬県出身のトップアスリートやボクシングの亀田選手を取上げた放送では亀田さんが優しい顔をされて子供達とふれあう場面が紹介され、子供たちにとっても思い出に残る内容と思う。

番組では若い方向けのスポーツを中心に紹介しているが、高齢者向けのスポーツもある。ゴルフやインドアでは社交ダンスがあり、公民館などで活動している。煌びやかな衣装をまとい優雅なダンスを取上げていただきたい。

(委員:スポーツが好きになる番組)

2020 年には東京オリンピックの開催を控え、スポーツが好きになるような番組づくりとなっている。ミニバスケットやママさんバレーなど楽しい構成であった。自転車のまえばしクリ

テリウムでは撮影に工夫されていてとても見応えがあり、一体どのように撮影しているのか興味を持った。

(委員:時代に合った内容)

番組は非常に面白く、時代に合った内容である。オリンピックの開催に向けて地元のスポーツを盛り上げ、プロ・アマを問わず紹介されているのが良い。取材を希望される方も多いと思うので、いろんなスポーツを取上げていただきたい。

(委員:リポーターも参加して)

番組自体とても良く仕上がっている。「ど・ろーかる」だからこそマイナーなスポーツや障害者のスポーツなど他には紹介されない珍しいスポーツを紹介していただきたい。取材対象者へのインタビューだけでなく、リポーターも実際にスポーツを体験してみると実のあるコメントになると思う。

(会長:街の活性化)

私も各委員と同じような意見であるが、群馬はスポーツ活動が盛んであり、取材によって地域の人の顔をテレビに映し出すことで話題となり、街の活性化につながると思う。

(制作チーム長)

今後、ジモスポの中でリポーターによる体験コーナーの採用について考える。

■ コミュニティチャンネル全般の番組について

(会長)

次にコミュニティチャンネル全般について、ご意見をいただきたい。

(委員:取材希望の対応)

群馬県には高崎アリーナが建設され、高崎駅西口は再開発が進み整備された。群馬県の玄関口としてまた観光をアピールする意味でも駅周辺を紹介する企画を立てていただきたい。平成13年から歩いて高崎を巡るイベントも毎年開催されている。是非、取材されてはどうか。

視聴者には取材を希望する方もいると思うが、そのような時はどのようにしたらよいのか。

J:COM と言っても知らない方はまだまだいると思う。

(制作チーム長)

局のフリーコールへ取材依頼をしていただければ、制作担当へ連絡が入るようになっている。どうぞご遠慮なく活用されていただきたい。

(委員:企業紹介)

地域には J:COM をまだ知らない人がいるので、地域を紹介するネタの一つとして企業紹介は良いのではないかと？取材を受けたことで、放送日時が口コミで広がる。

(委員:視聴者のターゲットを絞り込む)

地上局では扱わないこだわりのテーマや趣味などスーパーニッチ(※)なテーマで番組をつくられてはどうか。短い時間尺で何本も紹介するのが良い。私も可能な限り協力する。高齢者だけが観る、15歳以下でないと面白くない番組など視聴ターゲットを絞り込んだ番組はどうか。

※大企業がターゲットとしないような小さな市場や潜在的にはニーズがあるがビジネスの対象として捉えられていない分野のこと。

(委員:史跡の紹介)

群馬県は史跡も多く、地場産業が盛んである。世界遺産に登録された「富岡製糸場」や食品では「下仁田のこんにゃく」が特に有名である。神社仏閣も多い県である。そう言ったものを幅広く順繰りと紹介していただきたい。

小幡町には織田家が作った名庭園がありとても素晴らしい景観である。私も群馬県で生まれ育ってきたがそんな私でもその庭園を知ったのは最近である。地元に住む方も知らない情報を番組化してほしい。

(会長)

本会では各委員から数多くの要望が出された。これからも地域の活性化に向けた番組づくりを望む。今後の J:COM のコミチャンに期待している。

7. 閉会

(事業者)

本日は各委員から貴重なご意見、ご要望をいただき、今後の番組制作に活かしていくと共に、更に地域の皆さんに期待されるチャンネルとなるよう努力していく所存である。

(事務局)

これにて 2017 年度放送番組審議会を閉会する。

以上